

南翔



秋田県立秋田南高等学校同窓会会報

「南翔」 第64号

題字揮毫

鈴木 義信 氏(4期・東京支部) 書道家



写真提供 (株)岩田写真 岩田幸久(21期生)

新しい学びに、もうすぐ会える ～秋田南高校中高一貫教育校スタートに当たって～

秋田県教育委員会教育長
元秋田南高等学校校長

米田 進



「開けてごらん、新しい学びの扉を。」これは正式な校名の決定前に中高一貫教育校開設準備室で作成した平成28年度の中学校案内にあるキャッチコピーです。子どもたちは勿論多くの人にとって愛される言葉であると思っております。

秋田南高校は新たな中高一貫教育校として間もなくスタートいたします。振り返ってみると、平成24年10月5日に創立50周年式典が挙行され、11月8日には新たな出発を期して、第1回秋田南高校関係機関代表者懇談会が開催され、その中で中高一貫教育校の構想が提起されております。そして平成25年3月8日には「中高一貫教育校の設置に関することについて」という題で要望書が県教育委員会に提出されるという「速攻」ぶりでした。関係者の熱い思いがなせる業であったと思っております。

この熱意は、同日「新・秋田県立秋田南高等学校」構想骨子案が同時に提出されたことからもしっかりと伺うことができます。その骨子案では「6年間を見越したキャリア教育の実践」「異年齢集団による人間性の陶冶」「英語で発信できる人材の育成」などにより、ふるさと「あきた」を愛し、世界で活躍する豊かな人材をはぐくむことを目指すということを謳っており、強い意気込みが感じられるものでした。来庁された方々に対して私は教育長として次のようにお答えしました。「ご提言いただいた

ことをしっかりと受け止め、前向きに検討してまいりたい。」

その後、時を移さず高校教育課改革推進班では学校とともに基本構想策定に取り組み、基本理念、教育目標、特色ある取組などについて構想を固めてまいりました。希望であった平成27年度開設も視野に入れながら検討を行いました。諸々の準備等を含め解決しなければならない課題が多く結果的に今年4月の開校となったものであります。

「郷土や国家を支える高い志と国際的な視野を備えたグローバルリーダーの育成」を基本理念とし、学校設立時の精神や校訓「獨立自尊」そして校章を受け継いで新たな出発を迎える本校には大きな期待が寄せられており、中等部の入試倍率4.24倍という数値からもそれが伺われます。平成27年度に文部科学省からスーパーグローバルハイスクール(SGH)の指定を受けたことも大きな魅力になっていると考えております。「新しい学びに、もうすぐ会える」と冠した平成28年度学校案内を覗いてみると夢が膨らみ、希望がどんどん湧いてきます。

県教委では「グローバル人材の育成に向けたカリキュラムの開発及び実践」「郷土の現状に課題を見いだし、それをグローバルな視点で問い直し探究する学習を全校的に展開し、地球規模の諸課題の解決に向けて積極的に行動できる人材の育成」「より実践的な英語コミュニケーション能力や様々な課題を解決する力の育成」等に向けて本校を支援してまいります。同窓の皆様にもこれまで以上のご支援、ご声援、ご指導を賜りますよう祈っております。

同窓会創立50周年事業

平成27年は創立50周年記念式典を始め様々な事業を展開いたしました。まずは、そのうちの二件をご紹介します。

★10月1日(木)、母校体育館にて澤田賢一秋田大学学長により「明日を生きる君たちへ」と題して講演会を開催しました。全校生徒並びに教職員を前に、約一時間半、医学博士でもある澤田学長には、多岐にわたり気宇壮大なスケールで熱く語っていただきました。

『化石燃料への依存から宇宙太陽光発電への生活様式革命、そして世界人口増加による食糧対策。日本の特殊出生率の問題として実質国内生産は現人口の半分になり、従って企業はもちろん放射線科医やハウスキーパーなどはコンピューターやロボットで自動化されていくだろう。これは、ムーアの法則であり、そこで未来に生きる君たちは力を備えよう。どんな力が必要か。楽しみながら学習し、そして夢を持つこと。人間としての優しさを持ち、筋肉を鍛えるように継続的に非認知能力を鍛えよう。きっと君の未来は変えられる』……と。

★10月11日(日)秋田県民会館にて、吹奏楽部OB・OGの「秋田シンフォニックアンサンブル第23回定期演奏

会」の記念演奏会が開催されました。在校生と共に全国から馳せ参じたOB・OG総勢160名の熱き音色が響き渡りました。在校生は11月1日の全国大会を控えていただに、聴衆も期待と誇りでいっぱいでした。(結果は銀賞に輝きました!)故高橋紘一先生へ捧ぐ「G線上のアリア」「ヘイ・ジュード」、全国コンクール課題曲も披露、指揮はOBの羽川誠氏、奥山昇氏。はつらつとした躍動感の溢れる演奏で、時間のたつのも忘れるほどの感動のひとつでした。



平成28年4月「秋田南高等学校中等部」が開校

秋田南高等学校は、この4月、県内で3校目の県立中高一貫教育校として新しいスタートを切ります。併設される中等部、そして高等学校の両方に新入生を迎える準備は着々と整ってきています。

基本理念に「郷土や国家を支える高い志と国際的な視野を備えたグローバルリーダーの育成」を掲げ、中高6年間を接続した計画的、継続的な教育課程のもと、生徒の個性や創造性を大いに伸ばしていきます。

中等部入学者は、特色ある学びに意欲的に取り組みながら、高校生と日常的に交流・協働活動を行い、さらには高等学校から入学してきた生徒との切磋琢磨を通じて、人間的に大きく成長できると確信しています。

中等部の教育方針をはじめ、具体的な学びの特色に対する理解が得られ、昨年12月に行われた入学者選抜には340名の志願者が集まりました。志願倍率は4.25倍と非常に高い倍率となりました。

いよいよ4月には、県内39の小学校から、中等部1期生80名が希望に胸を膨らませてやってきます。

☆学級数は?

定員が1学年80名であり、1学年3学級でクラス編制を行います。

☆制服は?

中高一貫教育校とはなりますが、高校生の制服に変更はありません。

中等部生の制服は、男女ともデザインと色は高校生と同じです。

高校生との違いは、男子がボタンの色で、高校生の金色に対し、中等部が銀色となります。

女子は、高校生のネクタイに対し、中等部生がリボンとなります。



株式会社 吉兆ホーム

代表取締役 吉田一生 (13・F)
秋田市泉北4丁目3番28号



総合建設業/一級建築士事務所

株式会社 長谷駒組

代表取締役 長谷川 尚造
(25期E組卒)

〒010-0013 秋田市南通築地8-10
TEL.018(834)5445(代) FAX.018(834)5437

新しい未来づくり…… 夢づくり……
電気設備設計施工・融雪設備設計施工

サン電気工業株式会社

代表取締役 山岡 成司郎
第19期H組卒

秋田市広面字谷地田82-1
TEL 018(833)3451
FAX 018(833)3651

活躍するOB



佐々木琢郎(9期G組卒)
秋田内陸縦貫鉄道株式会社
代表取締役社長

内陸線鉄道は角館駅を出発し田んぼアートや大自然の車窓をゆっくり眺めながら走ります。

阿仁合駅までは約1時間20分ほど。観光アテンダントが軽快に語りかけ笑顔でおもてなしをしてくれます。森の中を抜けると阿仁合駅では今回登場いただく佐々木琢郎さんが笑顔で迎えてくださいました。内陸線にかかる思いなどをうかがいました。

Q 代表取締役社長に就任されてから約2年になりますがいかがですか？

A JTB出身ということで私に期待される団体誘致の点では台湾からの観光客が増えています。また、手軽に沿線をサイクリングしたいという要望から観光需要掘り起こしにつながるよう自転車をそのまま列車内に持ち込めるようにしました。

個人での利用が減少する中観光客で補い利用者を増やしていくということになります。ただ、「観光特化」という言葉は使いたくありません。94キロの路線は地元のボランティアで成り立っています。各駅ごとに愛護会があり花を植えたり除雪しており愛護会のみなさんの力によるものです。内陸線は地元住民ための生活路線であり続けたいと思っています。

Q 生活路線という意味では何か特徴的なことはありますか？

A 地元の北鷹高校生や角館高校生が通学に利用しています。通常は1両で運行していますが通勤通学時間帯は2両編成で運行しています。テスト期間中は勉強でノートに書くことができるようお座敷列車を運行し少しでも勉強に役立ててもらい地元のみなさんの支援にお返しできるようにしたいと思います。



背景は紅葉の森吉山。絶好の撮影スポット。

Q 代表取締役社長に就任されてから苦労話などありますか？

A 就任当初、JTB出身ということもあってか全国的な会社組織の社員と地元会社の社員の意識の違いを感じました。このままではいけないと感じ適材適所で効率よくできるようにするまで時間がかかりましたが軌道に乗っており少しでも赤字を解消できるよう結果を出していかなければなりません。

故郷の秋田市河辺町の婦人会が内陸線を2度利用してくれました。故郷の方々の真心に触れ内陸線が全国に知られるように頑張らなければならないと強く思いました。

Q 後輩や同窓生への言葉や思いはありますか？

A 学業のレベルが自分が在学していた頃とは全く違ってとても高くなっており素晴らしいことだと思います。スポーツでは野球部にぜひとも甲子園に行って欲しい。進学校の南高が甲子園に行くということは他校が甲子園に行くこととは意味が違うと思うし特別なことだと思います。

同窓生たちを見ても南高は優秀な人材を数多く輩出しています。私も同窓生との繋がりを大切にしていきたいと思っています。

内陸線に新車両を！という民間団体のプロジェクトが立ち上がっています。現在の車両は30年を超えており日々丁寧に整備して運行しています。森林浴をしながらのんびりと電車に揺られていると世間の喧騒を忘れさせてくれます。地域に密着している内陸線だからこそ魅力がありこれからもその魅力を発信し続けて欲しいと思っています。

取材：保坂タツ子(2期)、雅楽代昭子(16期)

文責/写真：雅楽代昭子



阿仁前田駅舎の2階は温泉施設



名物！田んぼアート「辰子姫」



桜や紅葉のラッピング車両もあります

秋田諸越粉 菓子種一式 そば粉製造元
株式会社 畠山製粉所

代表取締役 畠山佳男
第19期F組卒

〒010-0942 秋田市川尻大川町12-58
電話 018(862)4858・FAX 018(862)8717
E-mail selfun@cna.ne.jp

Kosharu&Mise
Hand Made Jewelry Shinoda

代表取締役 篠田大祐 (26期)

株式会社 こしやる店 篠田宝飾
〒101-0001
秋田市中通6丁目19-3
Tel.018-836-5486
営業時間9:30~19:00
毎週月曜・第3日曜定休
こしやる店 検索

AKITA MINAMI 1972
南蹴魂
～秋田南高校サッカー部OB会～

**9月24日(土)秋田ビューホテル
平成28年度サッカー部OB会総会開催**

秋田南高校サッカー部OB会
会長 安井誠悦 (14期B組卒)
URL: <http://nankofoot.com>
e-mail: info@nankofoot.com

落生会(秋田市役所支部)

秋田市役所支部落生会は、昭和55年に創設されました。今年度は12名が加わり、現在332名の会員がおり、本市役所において会員数が最も多い同窓会です。

1月22日には、総会の後、懇親会を開催したところ、約150名の会員が参加し、佐藤校長、山岡同窓会会長をはじめ、来賓の方にもご隣席いただき、盛会となりました。年に一度の会ではありますが、会員が親睦を深め合う場となっています。

懇親会では、昨年末同窓会南翔から頂戴した新たな支部旗を披露しました。旧旗の3倍ほどの大きさがある立派なもので、会員一同大変感激をしております。

毎年、懇親会の最後に校歌を斉唱します。校歌といえば甲子園。昨年夏は、今年こそ甲子園出場か！？と応援に力が入った方も多いと思います。落生会で甲子園へ応援をしに行き、校歌を歌うのが私の悲願であります。

母校は今年度、スーパーグローバルハイスクールに指定され、独自の教育プログラムに取り組んでいるほか、今年4月には中高一貫教育校となり、さらに特色ある学



校として新たな道を歩み始めます。また、山岳部がインターハイ3位になるなど、先述した野球以外にも様々な部活動が優秀な成績を取めたと報告をいただいています。

今後も、落生会の活動として微力ながら母校を支援していくとともに、会員の結束が深まるよう幹事長として努力してまいります。

母校の発展と生徒の皆さんのご活躍をお祈り申し上げます。(落生会幹事長 26期J 古木 昭一)

東京南翔会創立35周年を迎えて

東京南翔会会長 大森素弘

昨年11月1日、有楽町「日本外国特派員協会」にて東京南翔会創立35周年を祝う懇親会に山岡会長をお迎えし開催しました。冒頭、同窓会旗の贈呈を受け、その後有志3組によるコンサートを交え、座席は多くの方と語り合っていたため抽選としました。途中、名古屋市で開催中の全日本吹奏楽コンクールで母校が銀賞入賞の連絡が入ると、参加の皆さん大拍手喝采で盛り上がる一幕がありました。

初の在京同窓生の集いが昭和40年、1期生を中心に開催され、その後活動休止期間があったものの、新たに昭和58年4月1日、現在の組織に連なる同窓会支部を再結成し、この度35周年を迎えることができました。

昨年は、7つの同好会を立ち上げ、新しい活動をして進めて参りましたが、さらに幅広い年代の方が参加できるよう内容を工夫して参りたいと思います。特に若い人に参加してもらい、社会との関わりを、さらに持っていきたいと考えています。



新しい同窓会支部旗

【追悼の記】

宮本栄先生 平成27年9月6日 御逝去
在任期間 昭和37年4月～昭和45年3月

～宮本栄先生を偲んで～

2期 山本嗣久

昨年9月、恩師宮本先生のご逝去を新聞で知り、久々の対面は斎場での最後のお別れでした。ご親族の話では先生は秋南生に対して何か特別の気持ちを持っていたとのことです。昭和38年～44年までを野球部の監督をな

され、今や県内でも強豪校と言われる秋南野球部のまさに礎を築いてこられたお一人であることは間違いありません。

創部30周年の野球部誌に、＜草創期、何もかも不自由な中で若者は硬式野球への情熱に燃えていた。「高校時代、それは心身共に成長する時である。お互い、信頼のきずなで結ばれた時、図り知れない力を発揮する」。草創に携わった者として喜ばしいかぎりである＞とご寄稿されております。悲願の甲子園出場の折にはOBの誰かが先生の遺影をスタンドにお連れすることを約束し、心からのご冥福をお祈り申し上げます。 合掌



写真には毎日を「幸せ」にする不思議な力があるんです



岩田写真

代表取締役社長 岩田幸久 第21期B組卒
テクニカル事業部 藤田 歩 第38期C組卒

<http://www.iwataphoto.tv>

中通本店 秋田市中通 1-3-30

こども写真館：イワタフォトスマイリー山王店
イワタフォトスマイリー御所野店

☎018-834-5015 ■毎週水曜定休■



ICTでお客様の未来を応援
spirit of innovation

株式会社 フィデア情報システムズ

代表取締役 菅原 晟 (第1期F組卒)

取締役 金澤 邦雄 (第14期I組卒)

取締役 三河 雅則 (第18期G組卒)

卒業生22名

〒010-0951 秋田市山王三丁目4番23号

TEL:018-883-0200 <http://www.fisys.jp/>



Salesforce 認定上級デベロッパー

株式会社

エイチ・アイ・ティ

代表取締役 川合 俊昭 5期E組卒

システム1課長 瀬川 邦好 23期G組卒

総務部主任 渋谷 暁子 31期J組卒

〒010-0951 秋田市山王3-1-7 東カンビル7F
TEL018-785-5515 FAX018-895-5516

<http://www.a-hit.co.jp>

ソフトウェア開発 ●ネットワーク監視システム ●議会放映システム

母校だより



運動部活動

硬式野球部

秋季高校野球中央地区大会

準々決勝敗退 2-3 秋田西

サッカー

第93回全国高校サッカー選手権大会秋田県大会

準々決勝敗退 0-2 西目

ラグビー

第95回全国高校ラグビー大会県予選大会

2回戦敗退 0-95 男鹿工

バスケットボール

第46回全国高校バスケットボール選抜優勝大会予選

女子 2回戦敗退 37-57 秋田中央

男子 準々決勝敗退 62-94 平成

陸上競技

東北新人陸上競技選手権大会

女子 5000m競歩 1位 竹中奈央

全県新人戦

サッカー

準優勝 0-1 秋田商

ラグビー

3位(秋田・秋田南) 21-7 男鹿工

陸上競技

女子 5000m競歩 1位 竹中奈央

100mハードル 2位 工藤誠

男子 200m 2位 高橋大輝

走幅跳 3位 小原大輝

三段跳 3位 小原大輝

水泳

男子 総合 3位

100m平泳ぎ 3位 鈴木駿

200m平泳ぎ 3位 鈴木駿

200m自由形 3位 戸島竜大

400m自由形 3位 戸島竜大

200m個人メドレー 2位 橋本旭

400m個人メドレー 2位 橋本旭

400mリレー 2位

戸島竜大/橋本旭/鈴木駿/伊藤和哉

800mリレー 2位

戸島竜大/橋本旭/鈴木駿/伊藤和哉

400mメドレーリレー 3位

戸島竜大/橋本旭/鈴木駿/伊藤和哉

ソフトテニス

男子 団体 2回戦敗退 0-2 能代松陽

アーチェリー

女子 1位 長谷川彩花

2位 三澤優里

3位 小玉愛莉

男子 1位 高橋巧

2位 倉田琉之介

3位 高橋瑞季

バトミントン

女子 団体 2回戦敗退 1-3 秋田

男子 団体 2回戦敗退 1-3 秋田北鷹

個人 1部複準々決勝敗退

熊谷・佐々木 0-2 秋田工

山岳

団体 2位

体力競技 2位 木下雄輝

知識競技 3位 泉部航太

剣道

女子 団体 3位

個人 3位 石田小百合

男子 団体 優勝

個人 優勝 齊藤億

2位 工藤脩平

文化部活動

第61回青少年読書感想文全国コンクール秋田県審査会

入選 佐藤 緋名子、戸島 樹凜

秋田地理学会秋季研究発表会

研究奨励賞 嶋崎 史佳、長門 明日香

吹奏楽部

全日本吹奏楽コンクール

銀賞

書道

全県高校席書大会

一等 鷺谷 京香、嶋崎 琴音

文芸部

秋田県高等学校文芸コンクール

部誌部門 第一席 岬 第53号

詩部門 第三席 佐藤 勇樹

佳作 大内 桃花、成田 匠、小川 遥子

美術

秋田県高校文化祭総合美術展

絵画部門 入選 齊藤 怜奈

デザイン部門 入選 齋藤 あみ、室岡 充

推奨 白旗 優帆、佐藤 紅里

写真

秋田県高校文化祭総合美術展

写真部門 推奨 林 愛美、鈴木 晴菜、相馬 直樹、

佐藤 優帆、高橋 拓、高橋 麻生

よみうり高校生写真コンテスト

1席 鎌田 拓哉「パーカーゴースト」

放送委員会

秋田県高等学校放送コンクール

朗読部門 入選 上杉 拓真

自然科学

日本進化学会2015大会

優秀賞 長谷川 水輝

県小・中・高等学校児童生徒理科研究発表大会

斎藤憲三賞

学生化学賞高校の部 県議会議長賞

香料班 「香料の突然変異抑制効果に関する研究」

同窓会

総会予告

平成28年5月21日土曜日

午後4時～総会 午後5時～懇親会

会費 3,000円

場所 秋田キャッスルホテル

～自然を大切に～



山岡工業株式会社

代表取締役 山岡 緑三郎

第3期C組卒

本社／〒010-1415

秋田市御所野湯本二丁目1-5

TEL 018(826)1616

FAX 018(826)1565

営業所／北秋田市・横手市・仙北市

http://www.yamaoka-ind.co.jp/

税務のご相談は……

宇佐見康伸税理士事務所

税理士 宇佐見 康伸 (4・A)

事務所／秋田市中通五丁目6-33

☎018-832-8045

企業経営のパートナー

川村行政書士事務所

所長 川村 良喜

第4期A組卒

秋田市泉中央六丁目5番18号

シャロム泉1F

TEL 824-8171 FAX 865-5383

創立50周年記念 南翔ゴルフ同好会コンペ

9月27日(日)、気温24度、快晴で迎えた南秋田カントリークラブには、朝から懐かしい同窓生27チーム100名が次々と到着し、佐藤竹昭(5期)同好会会長らが出迎え。3年前の9月30日は、学校創立50周年の記念コンペ。その時は71名の参加者で湧いたものだったが、今回はそれを上回る過去最高の参加となった。

今大会のルールは例年と変わりなく、1チーム3名または4名で構成され、チームの上位3名のネット合計でチームの順位が競われる事に。今回は5名の女子が参加し、大会に花を添えた。コースには終日、同窓生の歓声が響きプレイを終了した。

表彰式・懇親会は、プレー終了後にアキタパークホテルで開催され、宮腰壽(6期)さんの司会で開幕。始めにゴルフ同好会の佐藤会長が挨拶。過去最高の参加者となった事へ、心からの御礼を述べると共に、数か月前から準備をしてくれた幹事の面々を紹介し、記念コンペが無事終了した事の喜びを語り、「高校の同窓会としてこれほど充実した事ができるのは、本校をおいて他にないだろう」と、すべての参加者・関係者に感謝の気持ちを伝えた。続いて、山岡緑三郎(3期)同窓会会長の挨拶に続いて、菅原晟(1期)さんの乾杯で、懇親会は賑やかに始まった。

いよいよ結果発表。チーム戦を制したのは、“チーム7期”。第2位には0.8点差で“シングル”が入り、第3位には“プラスB”が滑り込んだ。個人戦では、若手のホープ小松史弥(40期)さんが優勝した。

懇親会は、成績発表の後もお互いの健闘を称え合い、時を忘れて続いた。

大会結果 カッコ内の数字は“期”、(G)はゲスト

【団体戦】 (1チーム3～4名の内上位3名の合計で競われる)

優 勝	7 期 N 221.0	加藤慶太(7) 高橋美紀(7)	須田清子(7) 京野信行(7)
準優勝	シングル N 221.8	佐藤昭徳(22) 鈴木久和(30)	鎌田広重(27) 小松史弥(40)
第三位	プラスB N 222.2	桑原一夫(9) 林良 一(G)	加藤雅志(12) 佐藤照男(G)

【個人戦】

優 勝	小松史弥(40) G 80 N 71.6	準 優 勝	加藤慶太(7) G 107 N 72.2
第 三 位	熊谷正司(4) G 82 N 72.4	ベストグロス	森本大治(9) O:37 I:38 G 75

(文責:川合俊昭)



佐藤竹昭会長の挨拶



個人戦優勝の小松史弥さん(40期)



左から、佐藤竹昭会長と団体戦優勝チーム7期の高橋美紀さん、加藤慶太さん、須田清子さん



東日本大震災以降、史上最強の寒波！史上最強の台風！数十年に1度の大雨等、最近の異常気象に関しては驚くばかりです。被害を受けた方々には心よりお見舞い申し上げます。幸い秋田は今までに大きな被害はあまり受けていない状況で喜ばしい事ではありますが、どこかに「秋田だば大丈夫だ！」という根拠のない意識が蔓延していないでしょうか？！秋田だけが自然災害から免れるという事はあり得ません。

人ごとでは無く自分のこととして、普段から防災意識を持って生活していれば、まず自分が助かります。自分が

助かれれば家族を助ける事が出来ます。家族が助かれれば周りの人も助ける事が出来ます。大災害が来る前にみんなで十分な準備をしておきましょう。詳しくはWebでいろんな情報があふれていますので1度触れてみて下さい。近年縁あって防災に関して詳しくなったので、こんなつぶやきをしました。 19期 清水毅彦

同窓会
事務局

〒010-1437 秋田市仁井田緑町4の1
秋田県立秋田南高校内
電話 018-833-7431

～秋田駅とともに100余年～

株式会社 関根屋

代表取締役 金子達也

25期 J組卒

秋田市東通一丁目1番26号

☎018-833-6461 FAX018-831-4062

㊦ 北日本コンピュータサービス株式会社

URL: <http://www.kitacom.co.jp>

本社: 〒010-0013

秋田市南通築地15番32号

TEL: 018(834)1811

FAX: 018(834)1815

関東支社 関西支社 九州営業所

今時代は電子書籍

iPad/iPhone用書籍アプリ制作・販売代行

株式
会社

くまがい印刷

代表取締役 熊谷正司(4・A)

秋田市中通六丁目4-21

☎018(833)2220(代) FAX(833)6732